

経営比較分析表（平成29年度決算）

青森県板柳町 国保板柳中央病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	5	-	訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
13,967	5,825	第2種該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

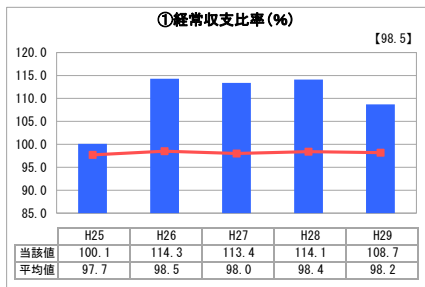
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
55	32	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	87
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
48	32	80

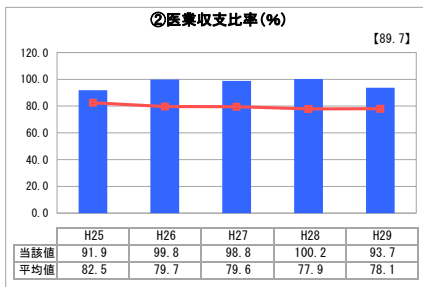
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

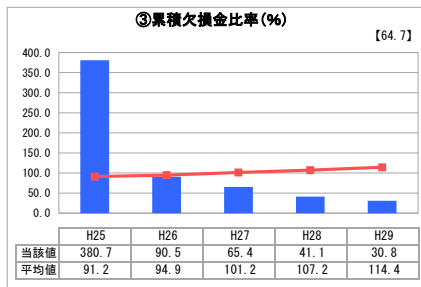
1. 経営の健全性・効率性



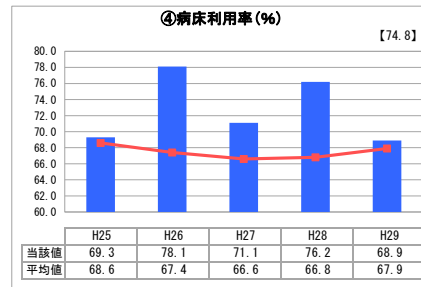
「経常損益」



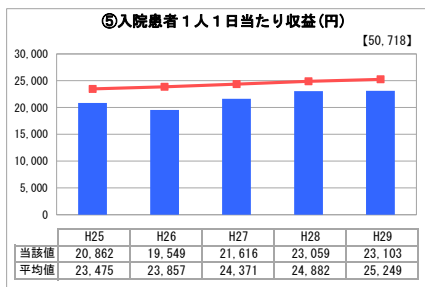
「医業損益」



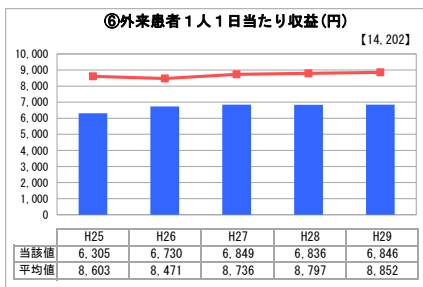
「累積欠損」



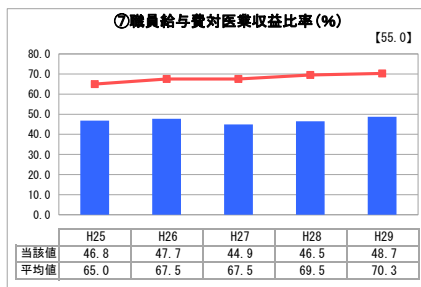
「施設の効率性」



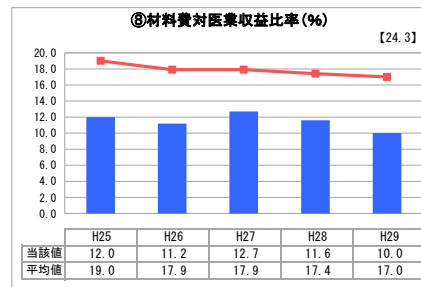
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

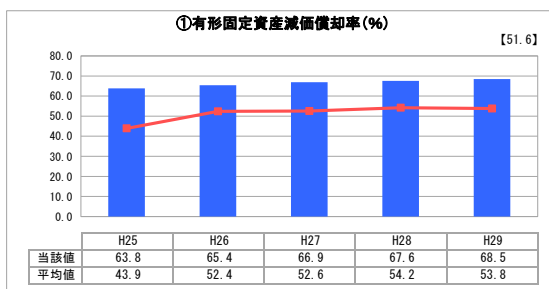


「費用の効率性①」

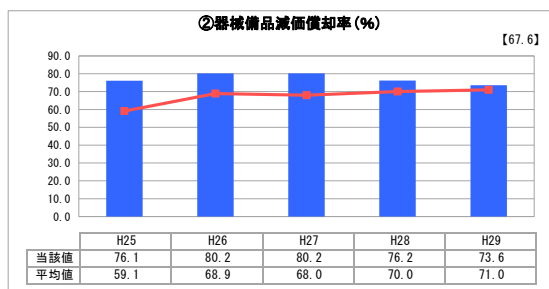


「費用の効率性②」

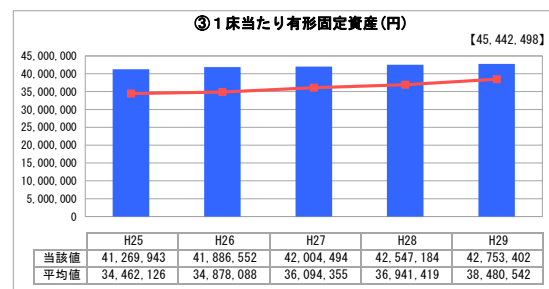
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

当院は、救急告示病院（二次）として、津軽圏域の北部の救急医療を担っており、また、急性期の治療を経過した患者及び在宅において療養を行っている患者等の受入れ、並びに患者の在宅復帰支援等を行う機能を有し、地域包括ケアシステムを支える役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

持続可能な経営を実現するため、経常収支比率は平成25年度より100%を超え、医業収支比率、病床利用率は類似病院平均値を上まることが出来ている。また、職員給与費、材料費対医業収益も類似病院平均を下回ることが出来ており今後も継続していきたい。一方で入院・外来患者の1人1日当たりの収益は年々増加傾向にはあるが、類似病院の平均値には達していない状態であるため、改善に向け検討が必要がある。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産、器械備品ともに老朽化が進んでいるため、計画的な更新を推進している。一方で、1床当たりの有形固定資産は類似病院平均を上回っているため、過大な投資にならないよう有形固定資産、器械備品の更新には注意が必要である。

全体総括

現在の経営状況は安定しているが、今後、老朽化した施設や機械等を計画的に更新し、地域住民が必要とする医療を過不足なく提供できるよう、より効率的で安定した経営が必要となる。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。